

# 5Gが生み出す新たな可能性を展望 ～「5Gがつくる未来」セミナーを開催～

総務省北陸総合通信局（局長 山田 和晴）は、平成30年12月14日（金）、福井県国際交流会館において、北陸情報通信協議会（会長 久和 進 北陸経済連合会会長）との共催により、「5Gがつくる未来」セミナーを開催し、ICT関連企業や大学などから約110名が参加しました。



総務省 電波政策課  
高橋統括補佐

総務省総合通信基盤局電波部電波政策課の高橋統括補佐から「電波有効利用成長戦略について」と題して、総務省の最新の電波政策の取組について説明しました。5G（第5世代移動通信システム）の展開により新たな産業が生まれることへの期待、近未来の地域社会の姿について、動画を交えて話がありました。



ソフトバンク株式会社  
先端技術開発本部 山田課長

ソフトバンク株式会社先端技術開発本部先端事業企画部先端技術試験課の山田課長から「5Gに向けたソフトバンクの取り組み」と題して、高速大容量、超高信頼／低遅延、多数同時接続の5Gの利点を活かした様々な実験について動画を交えて紹介しました。「4Gまでは人のための無線通信システムだったが、5Gは主にモノのための無線通信システムになる」と分析しました。



慶應義塾大学 理工学部  
システムデザイン工学科  
野崎専任講師

慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科の野崎専任講師から「リアルハプティクス（力触覚伝送）技術について」と題して、力加減や触った感覚を通信で伝える画期的な技術を紹介しました。

この技術によりIoT（モノのインターネット）はIoA（インターネット・オブ・アクションズ）に進化、人間の動作のロボット化が可能となります。5G通信の利用により、高臨場感の遠隔医療を始め、幅広い産業で活用の検討が進められていると締めくくりました。

セミナー会場では、携帯事業者3社による総務省の委託で行われた5G実証試験のデモ展示も行われました。



セミナーの様相



5G実証試験のデモ展示

お問い合わせ先 無線通信部企画調整課 076-233-4470